

一 駐在經過概歴

自昭和十五年上旬
駐在員行動經過報告

駐在員
陸軍主計大佐 阿久津 正藏

年月日 視察調査任務
前在任 務 畢

昭和十五年
十月三日 東京上野公園渡出
不連続滞在



十一月三日 滿洲國政府駐在員職務
山下敬吾團長同行

昭和十六年
一月六日 文藝春秋社内視察

一月八日 ハルビン到着

二月六日 西部戦場視察
ハルビン市各街區視察

CC 210

0191

1909

11-24-10 17 裕史新編 卷之三十一 卷之三十一 卷之三十一

15-10 17 = 1 卷之三十一

高野山 京都府 高野山 高野山

11-24-10 裕史新編 卷之三十一 卷之三十一 卷之三十一

高野山 京都府 高野山 高野山

14-5-2 裕史新編 卷之三十一 卷之三十一 卷之三十一

1. 裕史新編 卷之三十一



高野山 京都府 高野山 高野山

高野山 京都府 高野山 高野山

01500

1303

1910

二月二十日	二月十九日	二月十八日	二月十七日 二月十八日	二月十六日 二月十七日	二月十五日	二月十四日	二月十三日	二月十二日
カールスルーエ近郊視察 エトラスブルグ	カールスルーエ近郊視察 エトラスブルグ	カールスルーエ近郊視察 エトラスブルグ	カールスルーエ近郊視察 エトラスブルグ	カールスルーエ近郊視察 エトラスブルグ	カールスルーエ近郊視察 エトラスブルグ	カールスルーエ近郊視察 エトラスブルグ	カールスルーエ近郊視察 エトラスブルグ	カールスルーエ近郊視察 エトラスブルグ

三月二十一日	砲兵学校見学	ニームホーク
三月十九日	騎兵教導隊見学	クランプフツ
三月十八日	エネ学校見学	アムステルダム
三月十七日	歩兵学校見学	アムステルダム
三月十三日	通信学校見学	ハルレ
三月十一日	銃車学校見学	ハイネドルフ
三月十日	銃車学校見学	ハイネドルフ
三月九日	ベルリン視察	ハイネドルフ
三月八日	ストラスブルグ附近視察	ストラスブルグ

≡ 11月10日 ≡ 文部省のソビエト連邦政府とのベルリン宣言

≡ 11月11日 ≡ 文部省のソビエト連邦政府とのベルリン宣言
ソビエト連邦政府とのベルリン宣言

≡ 11月12日 ≡ クラフトホンの署名、試験開始
ドレスラフ

≡ 11月13日 ≡ ハルリン停戦

≡ 11月14日 ≡ 独軍野戦演習の終
ベルリン郊外

≡ 11月15日 ≡

≡ 11月16日 ≡ 軍部は是日ベルリンを占領
ベルリン

≡ 11月17日 ≡ プルワグ三陽見世
エフマン

≡ 11月18日 ≡ ソビエト連邦政府とのベルリン宣言
ドレスラフ

三月二十一日	ライオンタム工場見学	セントロノ
四月一日	エトールシーボルト工場見学	クレートミルト
四月二日	ゲルンマインラフランクマルトハイデルベルク工場見学	
四月三日	ロバートホウニン工場見学	レトウカルト
四月四日	グイムラーパンツ工場見学	トローベルト
四月五日	ゲンテールペンセル工場見学	
四月六日	グイムラーパンツ工場見学	ローテナウ
四月七日	ノエバリン製糖工場見学	フートリツとムン
四月八日	フートリツとムン工場見学	フートリツとムン
四月九日	マンニ工場	ニエレンホルン

四月九日

ダウ・ジョーンズ 附 北米

ダウ・ジョーンズ

四月十日

スコットランド 見聞

スコットランド

四月十一日

ベルリン 時評

四月十二日

北米 近年 経済 高 成長 示 互 統 論 説 取

近年 建築 経済 不振 示 公 事 業 主 計 下 位

近年 會計 簿 記 取 示 中 央 銀行 主 計 少 位

近年 銀行 経営 不振 示

近年 主 計 簿 記 不振 示 取 示 中 央 銀行

四月十三日

近年 銀行 経営 不振 示 取 示 中 央 銀行

近年 銀行 経営 不振 示 取 示 中 央 銀行

1915

五月八日
一 独逸物価政策 通行政策
二 独逸の独逸本國に經濟自由化
三 獨逸の財政と金融問題
四 獨逸の銀行と金融問題

五月九日
獨逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題

五月十日
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題

五月十一日
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題

五月十二日
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題

五月十三日
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題
独逸の銀行と金融問題 独逸の銀行と金融問題

1916

五月十一日

陸軍参謀總長訪問 新編陸軍参謀總長訪問
左記講談聴講人

一 三年参謀本部ノ組織及任務

二 國際及高層社會ノ組織及任務

左記講談聴講人

一 軍部ノ長

トール

五月十二日

一 陸軍参謀本部

二 改訂ヨリニ、ニニニリヒヤ射線

五月十三日

陸軍化學研究所ノ新設

新設材料見學

化學下都市見學

トール

トール

五月十四日

砲兵司令部見學

砲兵司令部見學

五月十五日

機械化學術科見學

トール

五月十六日

陸軍士官学校

トール

1917

五月廿一日	特選 高等学校見學	オホリ
五月廿二日	トシノイ古跡視察	オシノイ
五月廿三日	沿岸防衛見學	ラスパヤ
五月廿四日	キオルチオ工場見學	レニア
五月廿五日	アンチトル工場見學	レニア
五月廿六日	フレタ工場見學	ミラノ
五月廿七日	インスフラン工場見學	ミラノ
五月廿八日	フレタ工場見學	ミラノ
五月廿九日	ヒアト工場見學	トリノ
五月三十日	自衛軍 神宮寺部 陸軍大士校	トリノ
五月三十一日	西部アルプス観望見學	アルパ

1918

六月廿六日

福岡津住

六月廿七日

大平人祖参

六月廿八日

ヘルリン歸着

六月廿九日

独軍野戦糧秣部結隊出

各回武官招待
軍中要司各等
三者テ兵糧ス
下タシアクタイル
シト至糧トス

六月三十日

全隊出及懇談會出席

七月一日

独軍前線面之独軍ノ出ノ後クヘノ不中位

七月二日

シレシヤ軍兵業不規本ノタメヘルリン出奇

七月三日

主トシテブレスラウ附近クリトカー教授指導す
シレシヤ州農兵研究並 教習所
オーラウ、バウムガルテン

午乳田ニ陽ノ

全

七月十七日

牛乳加工教習並研究所

オーストラリア

シヨウトウイワフ製木橋工場

ドミントウイワフ

七月十八日

西條市志フシヨケン工場

カントウ

冷血種西育成牧場

イニルレミントルク

野井本屋エリノクニワ工場

バルヒウイワフ

鋳造工場

バルヒウイワフ

農業学校

ミツチルクイワフ

七月十九日

リールスワイルカツ東洋製鋼所

七月二十日

プレスラウ造車工場

プレスラウ

1920

七月十日 ハワフヘルト家経営中木東島ノ
トラヒミンブルク

七月二十日 ヘンケルパーレン旧家経営中東園及木苗且其ノ
クラワローレン

八月五日 ベルリン歸着

八月十日 ライプツヒ
ライプツヒ

八月十日 (延滞新織能志集)

八月十六日 ベルリン
ベルリン

程録研究会年報改訂

八月十七日 ヲイワトラハンニ侍ノ且其ノ
ベルリン

八月十八日 ヒルプブランド、チヨコレート工場見学ベルリン

八月十九日 アドルフ、ヒットラーニ侍ノ且其ノ
おワグダム

チンネルト罐詰工場ノ
おワグダム

九月十日 陸軍經理大佐 森 忠孝
ベルリン

九月十一日 且野ノメヘルリン出立
ハーネキ新中佐 海軍少将

九月十二日 レートルバハ、ブリキ工場に居る
プアリンシロイノ

ネーデルンク駐留 大佐
プアリンシロイノ

フリックウチニターブリキ工場
プアリンシロイノ
(仲達及里探 奥本達)

九月十三日 陸軍經理 奥野 會 徳 彦
ハンノーバー
(第十一軍管区) 經理 前 井 健
陸軍 砲 隊 廠
ハンノーバー

九月十四日 陸軍 砲 隊 廠 知 本 達 三 郎
ハーメルン

九月十五日 シンシネアツイ 砲 隊 廠 知 本 達 三 郎
ベルリン ハイム

1922

九月十六日 ベルリン帰着

九月十九日 O.K.H. 謝理研究所見学

主任
千代田マイヤー三村中佐

十月一日 南独逸総務局宿務教員講習会ベルリン参加

十月二日 フロイトライテラ士場 レトリトガルト

(ハン核電機及阪手車製造工場)

十月五日 アアレン陸軍特殊補給倉庫 アアレン

十月七日 ウルム陸軍特殊補給倉庫 ウルム

十月十日 ウルム附近視察ボート工場
工場経営タービンホイール工場

十月十六日 チンタルマン内工工場 タービンホイール

十月十七日 陸軍經理部見学 ミュンヘン

1923

十月十日 陸軍大臣陸奥義経 三ノノヘン

三ノノヘン 内務省 三ノノヘン

十月九日 山本有作 三ノノヘン

(三ノノヘン) (五ノノヘン)

十月八日 イマズブルワク 三ノノヘン

十月七日 軍管区建築 三ノノヘン

軍管区建築 三ノノヘン

十月六日 軍管区建築 三ノノヘン

野戦調理 三ノノヘン

ワイン 三ノノヘン

ワイン 三ノノヘン

十月十九日 三ノノヘン

十月二十日 三ノノヘン

十月一日ヨリ
十一月末ヨリ

昭和十七年
三月ヨリ

四月ヨリ

五月七日ヨリ

五月廿七日ヨリ

六月十三日

六月十八日

六月二十日

六月二十六日

六月二十八日

国立致物加工研究所ニ臨時雇用致物加工
技術指導人ニ従事ス 出勤

伯林経済研究大会ニ「国内経済研究」ニ発表ス
指導者舘野シバルリシニ指導中佐

改進黨問題研究論文等ヲ創刊シ毎週一回同
志會會報ニ登載ス

バルカン事情視察旅行ス
ブタペスト フカレスト ソビヤ

東野戦場長領地(主トシテ中央官軍)ニ於ケル
輸送便奉團ニ参加シバルリニ出立ス

冬期輸送及輸送及架橋作業ニ関スル講義教授
インストラクター

停車場設備及架橋作業見學 コブノ附近

架橋作業見學
コブノ附近

架橋作業見學
コブノ附近

1925

六月十九日
二十日

停車止ノ絶致見事

架橋作事見事

軍持孫重孫所見事

軍視服修所見事

富貴水以作事

休衣前出事

休服換樂所見事

師団指揮分所見事

第一線架橋作事見事

第一線鉄道改修作事見事

第一線配飾水見事

第一線二七自若十松改見事

第一線宿舎改修見事

果生生活水以作事

車中 絶停車所絶致見事

リカ海岸役者

ハルリン帰着

スモートレンク

ヤスマ

スパス、アインク

附道

心エフ解道

リカ

七月廿日
廿一日
廿二日

七月廿三日

七月廿四日

七月廿五日

八月ヨリ
十月迄

十一月十三日

十一月十五日

十一月廿日

十一月廿日

十一月廿日

十一月廿日

十一月廿三日

國産穀物加工研究會の報告ハルズメンケイ救救指導
ノ許ニ應中斷斷其下ノ研究又

又コノ間C.K.H. 總務長企画部キーノミヤヤノ中
任ノ許ニ出頭指導ノ技術的制査研究ヲ行フ
陸軍衛生局長研究並救救指導也

第一軍衛生隊三年一週研究報告書前送也
ハルリン

クノール余性品工場見學
ハルリン

「カニシヤ」飲料品工場見學
ハルリン

「セヒヤ」飲料品工場見學
ハルリン

陸軍衛生隊司令部ニテ特別説明會
ハルリン

ハニカ「内田」工場見學
ハルリン

ライン方面衛生研究會所主任長田達彦ノ「メ」出頭

十二月五日

エンジンバルト製菓工業所見学

エンジンバルト「江」飲料品製菓工業所見学

カールスルエ工業技術研究所見学

エト「糖帯」工場見学

十二月十日

茶丸製菓工業所見学

ラクエ「糖帯」工場見学

十二月十六日

製菓科学研究所見学

フランクフルト大業栄養研究所

十二月十七日

ベルリン特着

一月十三日

私設衛生局倉庫部及家庭部見学

カールスルエ

カールスルエ

カールスルエ

カールスルエ

フランクフルト、
「ハ」マイン

フランクフルト
「ハ」マイン

フランクフルト
「ハ」マイン

フランクフルト
「ハ」マイン

ベルリン

二月十日 帝立遺言研究會所並三陽史館より多感ルリニ由テ

二月十日 古くはマン乾略ニ傳見セテ
アルニ

二月七日 不人ハイハ果實ト出テ來テ此ヲ研究所ニ送テ
シト、トカルト

本ハニハハ果實ニ對シテ技術研究所
シト、トカルト

科學實驗研究所

乳製品研究所

醸造研究所

メルツエツス天酒醸造ニ傳見セテ
シト、トカルト

キハル應中化學主殿ニ送テ研究所
シト、トカルト

クリーマース乳製法ニ對シテ研究所
シト、トカルト

二月十日 緬甸化學研究所
シト、トカルト

三月五日 又ウツトクナルム
シト、トカルト

三月十日 戦国河橋施設見學ノケルオムトガロイエンニ出奔

三月十日 シンタインへ上車輪を踏鉄工場見學ナ ケーミンスバルヒ

三月十日 トラケーノ宿西河見學 トラケーノ

三月十日 國立西術放技場見學 インスターブルク

三月十日 陸軍官立衛隊病院敷見學 ケーミンスバルク

三月十日 ベルリン見学

三月十日 陸軍軍大生應訓練学校見學 シェーレンバシク

三月十六日 陸軍戰術研究所見學 ハルキン

陸軍官立補給庫下倉庫訓練所見學 ベルリン海外

三月十六日 独逸官専大訓練所見事

ベルリン郊外
グーテンタール

三月十七日 陸軍獣疫材料社廠見事

ベルリン

三月十八日 獣医園任役参事ハンブルグニ出立

三月十九日 ハスタード蹄釘製造工場見事

ハンブルグ

生乳生化乳工場大験所見事

ハンブルグ

ハーゲンヘック動物園視察

ハンブルグ

四月一日 大ニ合本園見物日滿地板研究ヲ行ハルニイテ研

四月十三日 生乳工場見事
余合本園視察ス

四月十六日 ینگニトヨル此部東京部ハニブルグ工場見事ハンブルグ

1931

四月廿六日
シニニツトシヨル製木麵粉、ハンブルグ工場見學
ハンブルグ

ゲブリートキル、ケローラー、魚カニ工場見學
ハンブルグ

四月廿七日
ヒルツグランド製粉工場並、澱粉工場見學
ハンブルグ

トルンハルト、ホス、煙草を装工場見學
ハンブルグ

四月三十日
全 黨、國民福利施設、放映部見學
ベルリン

佐々木清見學

1932